

編集後記

お陰様で、編集委員長としての任期を無事務め終えることができた。着任当初の目標は「定性・レビュー論文を充実させること」「特集記事の位置づけを改善すること」「実力のある若手の研究者を発掘すること」の3つであった。定性分析の投稿が増えていることは実感している。特集記事も読者に読んでもらえるように、テープ起こし記事を一扫するなど大幅に変更した。論文審査では新たな査読者の発掘を試みた結果、今はまだあまり名が知られていないが、高い研究力をもつ若手の研究者が日本に多くいることを知った。さらに第20回大会では、編集委員長セッションを企画する機会をいただき、直接会員の方々へ論文の投稿を促すこともできた。我ながら一生ぶんの学会への貢献は果たしたように思う。

編集作業を支えてくださった先生方、そして何よりも、突然の査読依頼や原稿依頼に快諾してくださった先生方には、感謝申し上げたい。今後も、『経営行動科学』誌が会員の研究活動を促進する雑誌であり続けることを祈りながら、新編集委員長の渡邊先生へとバトンを渡すことにしたい。

第30巻担当 編集委員長 犬塚 篤